

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 29 年 6 月 5 日現在

機関番号：12601
研究種目：基盤研究(C) (一般)
研究期間：2013～2016
課題番号：25370160
研究課題名(和文) ジャンル・ヌーヴォーとしてのインド舞踊とロシア・バレエの出会い 多元主義の芸術

研究課題名(英文) West Meets East: Genre Nouveau as an Art of Pluralism

研究代表者
平野 恵美子 (HIRANO, Emiko)

東京大学・大学院人文社会系研究科(文学部)・助教

研究者番号：30648655

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,800,000円

研究成果の概要(和文)：19世紀末から20世紀初頭の西欧において、東洋の芸術は単なるエキゾチシズムの表象として受容されていたわけではなかった。ウダイ・シャンカールや貞奴など西欧の外の東洋から来た芸術家達は、文明以前の原始の古代ギリシア同様、行き詰まった合理主義や発展主義の打開策として西欧の芸術家達の靈感の源となった。古代への回帰を訴えたイサドラ・ダンカンの踊りは、プリミティヴでシンプルだったがゆえに、舞踊のモダニズムの扉を開くことになった。ミニマリズムこそ現代芸術の特徴だからであり、そこには余白に美を見出す日本の芸術の影響が感じられる。19世紀的なオリエンタリズムは、ジャンル・ヌーヴォーを経てモダニズムへと昇華した。

研究成果の概要(英文)：At the turn of the 20th century, it was not the case that, in the West, art from the East was perceived as mere exoticism. Eastern artists such as Uday Shankar and Sadayakko, as well as the art of primitive ancient Greece provided an escape route from Western rationalism and expansionism, and inspired Western artists. Isadora Duncan, who urged a revival of the arts of antiquity, opened the door to modern dance with her "primitive" dance. Minimalism is a key to modern art, and the influence of Japanese art, which finds beauty in empty space can be keenly felt. It was through Genre Nouveau that 19th century orientalism was refined into modernism.

研究分野：舞踊を中心とする芸術文化研究

キーワード：舞踊 バレエ モダンダンス ジャンル・ヌーヴォー ジャポニズム アンナ・パヴロワ ウダイ・シャンカール イサドラ・ダンカン

1. 研究開始当初の背景

研究代表者は、セルゲイ・ディアギレフ(1872-1929)が率い、20世紀初頭の芸術に大きなインパクトをもたらしたバレエ・リュス(ロシア・バレエ団)を長年の研究テーマとしていた。バレエ・リュスは1909年にパリで西欧初公演を行なった。アンナ・パヴロワやワツラフ・ニジンスキーといった伝説的なダンサーによる優れた舞踊技術のみならず、斬新な振付、先進的な作曲家や画家による音楽や美術が西欧の観客に衝撃を与えた。とりわけ初期のバレエ・リュスにおいては、画家は美術のみならず台本も手がける等、バレエ作品の制作において重要な役割を果たしていた。特にレオン・バクストという画家のオリエンタリズム志向は、西欧における「東洋=野蛮、エキゾチック、エロチック、豊かさ、豪華」という東洋のイメージと相まって、そのままバレエ・リュスのイメージとして受容された。しかし当のロシア人達のスタンスは西欧人だったというパラドックスがあった。このことは、ロシアや西欧におけるオリエンタリズムの受容について大きな関心を抱く一つのきっかけとなった。

2. 研究の目的

19世紀後半から20世紀初頭において、オペラ同様、オリエンタリズムはバレエ作品の主要なテーマの1つだった。《眠りの森の美女》《くるみ割り人形》等、現在も人気のある古典バレエの振付家であるマリウス・プティパは、《ファラオの娘》《バヤデルカ》等、東洋をテーマにしたオリエンタル・バレエを作った。これらの作品はヨーロッパ列強の植民地政策が反映されており、《せむしの仔馬》のようなロシア民話に題材を採ったバレエでさえ、ロシア帝国による中央アジア征服のモチーフが巧みに織り込まれていた。また主題は東洋的なものを取り入れていても、バレエの形式は19世紀的な西欧のバレエだった。次の世代に属する、バレエ・リュスの振付家であるフォーキンもまた、エジプトやインドを主題にした作品を振付けたが、それはプティパの19世紀の帝国主義的なオリエンタル・バレエとは大きく異なっていた。フォーキンは美術館に通い、東洋からもたらされた美術品を熱心に研究観察し、壁画や仏像のポーズを自分の振付に取り入れた。彼はプティパよりもっと真摯な態度で異国の文化や芸術と向き合い、これに忠実であろうとした。『ディアギレフのバレエ・リュス(Diaghilev's Ballets Russes)』(1989)を著した Lynn Garafola は、こうしたオリエンタリズムの次の段階を「ジャンル・ヌーヴォー」とであると指摘した。

だがバレエ・リュスの時代に東洋と西欧の舞踊芸術は完全に平等な融合を遂げたのだろうか? それまで西欧人の想像力の中にあった東洋は、20世紀にはもっと現実的なものとなって芸術の表象として現れ始めたが、単な

るオリエンタリズムではない、「ジャンル・ヌーヴォー」とは何か、それは新しい芸術の様式を生んだのだろうか、という問題を追求するのが本研究の目的であった。

3. 研究の方法

研究代表者はバレエ・リュスにおけるジャンル・ヌーヴォーの表象を調べている間に、後にバレエ・リュスを離れ、自国のバレエ団を結成して世界中で公演し(1922年に来日もした)世界的な名声を得ていたアンナ・パヴロワが、1923年ロンドンのロイヤルオペラハウスで日本舞踊とインド舞踊を上演していたことを知った。この時、パヴロワと共演したのは、ウダイ・シャンカールというインド人青年である。彼は著名なシタール奏者ラヴィ・シャンカールの長兄であるが、この世界的に知られる弟に比べると現在は殆ど知られていない。だがウダイこそ、当時は廃れていたインド舞踊を西欧で初めて本格的に紹介し、また本国で復興させた人物である。

研究代表者は、これ以前にウダイ・シャンカールについて、伝記的な調査を行ったことがあるが、それは基礎的な研究の域を出るものではなかった。そこでまず、ウダイ・シャンカールの活動に着目し、その西欧と本国における受容を調査することにした。

また、アンナ・パヴロワがロンドンで演じた日本舞踊にも注目した。日本から見たパヴロワの来日は、日本人に最初に本格的な西欧バレエを紹介した点が評価されている。だがパヴロワもまた、日本やインドなどで目にした東洋舞踊に感銘を受け、自らの舞踊に取り入れ舞台で踊った。このように日本やインドなど東洋の舞踊や演劇が、西欧の芸術家によって彼らの文化や芸術に取り入れられた例は、パヴロワだけではないと考えられる。そうした例を集め、その受容と発展について考察する。

地道な方法だが、大英図書館や仏国立図書館、国会図書館(日本)や大学図書館など国内外の図書館や資料館で、19世紀末から20世紀前半の舞踊や演劇に関する記事や批評を収集し分析・考察する。また、実際の舞踊家や研究者とも密接に連絡を取り、研究会を開催する等の方法で、意見や情報を交換する。



ウダイ・シャンカール



日本舞踊を踊るアンナ・パヴロワ

4. 研究成果

フォーキンやパヴロワは、プティパのように帝国主義的で 19 世紀の西欧的なスタイルに東洋のイメージを押し込めるやり方から離れ、美術館で東洋の彫刻や絵画から学んだり（フォーキン）、実際の東洋の舞踊家から学び自らそれを踊った（パヴロワ）。だがその新しいエスノグラフィック・メソッドを用いて、バレエにおける新しい様式を生み出すにまで至ったのだろうか。

本研究を開始した当初、主要な研究テーマとしていたのは、ロシア・バレエにおけるインド舞踊の受容だった。だが研究を進めるにつれ、西欧芸術における東洋の舞踊や文化の受容という枠組みで考えた場合、ロシアとインドだけでは不十分であると感じた。よって、対象を拡げることにより、一つの例だけではなく複数の例に共通してみられる現象から結論を導き出そうと試みた。もちろん結論は一つだけと想定したわけではない。

西欧美術史におけるジャポニズムの変遷を例に取ってみる。ジャポニズムの影響を受けた代表的な画家の一人である、ホイッスラー（James Whistler）の「紫とバラ色-6つの印のランゲ・ライゼン」（1864）には、日本風の着物を着た女性と東洋のデザインの壺が描かれている。だがこれは、構図や色彩など様式において、日本のモチーフを西欧式の画面に取り入れただけに過ぎない。「ジャポニズム」を一つの芸術の様式と定義するなら、これはまだ「日本趣味（ジャポニズリー）」の段階を出ていない。だが、「紫とバラ色」から約9年後の、同じホイッスラーの「カーライルの肖像」（1873）は、日本的な具象表現は無いものの、その簡潔で静謐な墨絵のような表現にこそ、昇華したジャポニズムの新しい様式を見ることができるといえる指摘がある。[Buchanan, William. "Japanese Influence on Charles Rennie Mackintosh," Charles Rennie Mackintosh Society. Newsletter. No. 25, Spring 1980. p. 3.]この例を舞踊に当てはめて考えると、パヴロワの日本舞踊もフォーキンのメソッドも、プティパよりも進歩は見られるものの、新しい様式を生み出した、と言うまでには至らないかもしれない。

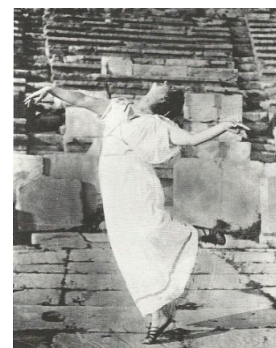
一方、ロシアや西欧において、日本など東洋の芸術を、ただエキゾチシズムの枠組みだ

けで捉えていたわけではないことも、芸術家達の回想や舞台評などから明らかになった。当時、東洋の舞踊や演劇以外で、西欧の芸術家達に注目されていたのは、古代ギリシアの思想や文化である。古代ギリシア（ヘレニズム）は古くから旧約聖書の世界（ヘブライズム）と並んで、ヨーロッパの人々の精神的な基盤だった。だが産業革命や啓蒙主義などを経て、西欧型の発展主義が行き詰まりを迎えた 19 世紀末では、理性や合理主義のギリシアではなく、西欧文明以前の原始的なギリシアが、芸術家達の靈感の源として注目された。その時、西欧の外の世界からやって来た、シャムの舞踊団や川上貞奴やハナコのような日本の舞踊家達の芸術は、「原始的（プリミティヴ）」と捉えることで、古代ギリシア文明と同等の価値を付与されたのである。

研究期間の後半には、イサドラ・ダンカン（1877-1927）の影響にも注目した。古代ギリシアへの回帰を呼びかけ、「モダンダンスの母」となったダンカンの踊りも、「プリミティヴ」であるがゆえに、多くの芸術家に衝撃を与えた。だが実際には彼女の踊りは全くの素人のそれではなく、一定の技術を要するものであった。またダンカンの踊りは、クラシックバレエのようにアクロバティックな技術を要するものではなかったが、そのシンプルな踊りは、余白に美を見出す東洋の芸術の影響が感じられる。現代芸術の大きな特徴の一つはミニマリズムだが、ダンカンの踊りがモダニズムへの道を開いたのは、間接的かもしれないが東洋の芸術の影響があったからだと考えられ、ここに舞踊におけるジャポニズムの昇華した形が見られる。



カーライルの肖像



イサドラ・ダンカン

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計3件)

平野恵美子、抄訳「ラフマニノフの思い出」(マリエッタ・シャギニャン)、東京大学現代文芸論研究室紀要れにくさ、第6号、査読無、2016、42-53.

平野恵美子、チャールズ・レニー・マツキントッシュとジャポニズム：その歴史的・文化的背景、東邦大学紀要、査読無、46号、2016、103-115.

平野恵美子、バレエ《魔法の鏡》と1900年代ロシア帝室劇場における変化、東邦大学紀要、査読無、45号、2015、99-111.

[学会発表](計4件)

平野恵美子、20世紀西欧芸術のジャンル・ヌーヴォー、公開シンポジウム『ロシア芸術とジャポニズム』、2015年12月4日、東京大学(東京都文京区)

平野恵美子、1890年代のロシア帝室劇場のオペラのレパートリー：ポリショイ劇場(モスクワ)とマリインスキー劇場(サンクトペテルブルク)、公開シンポジウム『歌劇場のプログラム分析から見えるもの 音楽劇データベースの構築と利用法』、2015年10月10日、早稲田大学(東京都新宿区)

Emiko Hirano, *Ballet and Opera in the Russian Imperial Theatres of 1890-1900*, ICCEES World Congress 2015, Makuhari Japan. 2015年8月4日、神田外語大学(千葉県千葉市)

平野恵美子、バレエ《魔法の鏡》と1900年代ロシア帝室劇場における変化、第64回日本ロシア文学会、2014年11月2日、山形大学(山形県山形市)

[図書](計2件)

平野恵美子、丸本隆他7名編、アルテスパブリッシング、『キーワードで読む オペラ/音楽劇 研究ハンドブック』、2017年、418-426(452頁)

平野恵美子、大笹吉雄他3名編、白水社、『日本戯曲大事典』、2016年、12, 63, 81, 236, 268, 455, 528, 641(1020頁)

6. 研究組織

(1)研究代表者

平野 恵美子(HIRANO, Emiko)
東京大学・大学院人文社会系研究科・助教
研究者番号: 30648655